

## 令和4年度あわらし行政評価外部評価委員会会議録（要旨）

- 1 日 時 令和4年8月1日（月） 13:30～17:00
- 2 場 所 あわらし市役所 101 会議室
- 3 議 題 ・行政評価（施策）の外部評価
- 4 資 料 ・令和3年度施策評価シート
- 5 出席者 委 員：桑原委員（会長）、達川委員、丸谷委員、山口委員、小嶋委員、  
坂野委員  
内部評価委員：前川副市長、大角創造戦略部長  
総 務 部：江守総務部長、吉田総務課長、三上防災安全対策室長  
創造戦略部：常廣市民協働課長  
市民生活部：山田市民生活部長、矢部市民課長、中道生活環境課長  
健康福祉部：村中福祉課長、北島健康長寿課長、永田子育て支援課長補佐、  
村中子育て支援課長補佐  
経済産業部：中嶋経済産業部長、笹木商工労働課長、東農林水産課長、  
翠観光振興課課長  
土 木 部：龍田土木部長、大味建設課長、山口上下水道課長、  
山本新幹線まちづくり課長  
教育委員会：岡田教育部長、江川教育総務課長、早見文化学習課長、  
中辻スポーツ課長  
事 務 局：堀江政策広報課長、藤田政策広報課参事、坂井政策広報課主査

### 6 会 議

- ・委員の出席状況の報告（伊藤委員、八木委員は所用のため欠席）
- ・議事

※以下の議事録において、施策番号は【 】、事務事業番号は< >で表記する。

|     |                               |
|-----|-------------------------------|
| 事務局 | action1（環境）に係る施策【1】～【4】について説明 |
| 会長  | action1について意見や質問はあるか。         |
| 委員  | <33>「防災資機材の整備率」とはどういう指標か。     |

|       |   |
|-------|---|
| 総務部   | 分母が県の設定する飲料水の備蓄数量、分子が市の備蓄している飲料水の数量で計算した割合である。県の設定値よりも高い水準で備蓄しているため、100%を超えている。 |
| 会長    | <29>指標「雪に強いまちづくり支援事業採択実績」の令和3年度実績値が増えた理由は何か。                                    |
| 事務局   | 令和3年1月の大雪を受け、業者や行政区が除雪体制強化を図ったためと思われる。  |
| 会長    | <19>し尿処理量の減少の背景は何か。   |
| 市民生活部 | 下水道の普及に伴うものである。   |
| 委員    | <20>指標の「施設見学会」とはどのようなものか。   |
| 市民生活部 | 市民の方を対象に、坂井森林組合と劔岳地区振興協議会の協力で、刈安山の林業をテーマとした見学学習会を開催した。                          |
| 委員    | 洋上風力の進捗状況はどうか。  |
| 副市長   | 現在、開発側、自治体、地域住民などの関係者で構成する法定協議会を立ち上げ、国から有望地域の指定を受けるための協議を進めている。                 |
| 会長    | ごみの熱エネルギー利用や肥料としての活用の観点で、エコ市民会議などで取り組んでいることはあるか。                                |
| 市民生活部 | 現在は行っていないが、今後検討させていただく。   |
| 委員    | 【2】バイオマスプラスチックゴミ袋は、今使っているものよりも高額なのか。  |
| 市民生活部 | 従来比1.6倍の製造費がかかり非常に高額となるため、広域で連携して導入できたらと考えている。                                  |
| 会長    | 【1】北潟湖自然再生協議会の発表会とは何を行っているのか。   |
| 市民生活部 | 各部会に分かれて調査を実施した結果及び水質調査に関する大学の先生の研究成果を全体会議の場で発表した。                              |
| 会長    | 興味を持たれる人に、HPなどで情報発信できるといいのではないか。  |
| 委員    | <25>要援護者台帳登録同意者率の指標が下がっている理由は何か。また、要援護者台帳はどのように活用されるのか。                         |

|       |  |
|-------|--|
| 総務部   | 平成 31 年度から令和 3 年度にかけて、母数となる対象者数が増えていることが要因の一つと考えられる。登録には同意が必要だが、情報開示に抵抗のある方もおり、丁寧に説明していくことが必要と考えている。<br>登録に同意いただくことで、災害発生時に限らず区長や民生委員に対し要援護者情報の開示が可能となる。同意がないと災害発生後に台帳作成や情報共有が始まり、対応が一步も二歩も遅れることとなる。 |
|       |  |
| 事務局   | action2（健康）に係る施策【5】～【12】について説明   |
| 会長    | action2 について意見や質問はないか。   |
| 委員    | 【6】朝食食べない割合 施策指標と事務事業指標の違いは  |
| 健康福祉部 | 学校アンケートの結果 児童生徒（小中学生）、児童（中学生）  |
| 委員    | 【8】パートナーシップ宣誓制度などの導入はどう進めていくのか。  |
| 創造戦略部 | 県と一体的に、先進事例を研究しながら準備を進めていく。  |
| 達川委員  | 【12】国民健康保険医療費 458 千円は平均よりも高いか低い。   |
| 事務局   | 県平均が 401 千円であり、平均よりもやや高い。  |
| 会長    | 身寄りのない高齢者の増加について、今後の推移は把握しているか。  |
| 健康福祉部 | 相談件数は増加傾向にある。国・県の調査結果から人口推計したものは把握しているが、全数調査ではない。  |
| 会長    | アンケートと支援制度の周知を併せて実施するなど、問題が発生してからでは遅いので事前に手を打てるとうい考える。   |
| 委員    | 【9】及び【10】の指標達成に向けた核となる取組はあるか。  |
| 福祉課長  | 高齢、障がい、子どもなどの既存の枠組みにとらわれず、横のつながりを強化した重層的支援体制の整備を予定している。  |
| 委員    | 【9】「地域協力者」とはどういった方を想定しているのか。   |
| 健康福祉部 | 民生委員、福祉推進員、区長、近隣住民などを想定している。   |
| 会長    | ヤクルト配達員などライトに協力体制が構築できるといいと考える。  |
| 健康福祉部 | 市内外 26 事業所と連携し、支援の必要な方の早期発見・連絡体制の充実を図っている。   |

|       |  |
|-------|--|
| 委員    | 民生委員のなり手不足・高齢化は深刻である。今後も要支援・要介護者は増えていくと思われるので、対策をお願いしたい。                                       |
| 副市長   | 高齢化に伴う諸課題は認識している。民生委員については、どうしても個人の協力が必要となる部分がある。単に報酬の額を引き上げればよいという問題ではないと思う。引き続き有効な対策を議論していく。 |
| 会長    | <101>指標の「要対協進行管理件数」とは何を指すのか。   |
| 健康福祉部 | 「要対協」は要保護児童地域対策協議会の略で、虐待防止、困窮等に関し同協議会において進行管理している案件の年度末時点での終結割合を示している。                         |
|       |  |
| 事務局   | action3（教育）に係る施策【13】～【17】について説明  |
| 会長    | action3について意見や質問はないか。  |
| 委員    | 【13】「英語を専門の教科指導員」とは、教員に対する英語の指導を行うのか。  |
| 教育委員会 | 小学校の教員に対する英語指導とALT生活支援をしていただいている。  |
| 会長    | 中学校の英語科目は評価が難しいという課題があるが、どのような対策をしているのか。   |
| 教育委員会 | 教育研究会での研究、学校間での事例共有など取り組んでいただいている。   |
| 委員    | <116>現在、日本語が不自由な児童生徒は何人いるのか。   |
| 教育委員会 | 0人である。   |
| 会長    | <119>各小中学校のICT機器活用率が0%なのはなぜか。  |
| 教育委員会 | 令和4年度全国学力調査に新しく追加されるアンケート設問のため、令和3年度以前は数値がない。0ではなく「-」に修正する。                                    |
| 委員    | 今後、学校の統廃合についてはどのように考えているのか。  |
| 教育委員会 | 平成28、29年度には複式学級解消を目的に3校休校した。今後も基本的にはその考え方の基に判断することになると思われる。                                    |
| 副市長   | 現時点で具体的にいつ、どの学校が、というものはないが、数年後には議論が出てくると思われる。  |

|       |  |
|-------|--|
| 委員    | 通学の安全性、利便性は重要だと思うので、統廃合の議論ではその点も含めて検討してほしい。  |
| 副市長   | 承知した。  |
| 委員    | <112>、<113>アンケート結果は高い数値だが要因をどう分析しているか。   |
| 教育委員会 | 各学校で「ふるさと学習」を推進してきた成果と考えている。   |
| 委員    | 部活動の地域移行については、送迎などの面で家庭の負担が増すという懸念がある。部活動補助金が廃止されることに伴う代替措置は何かあるのか。  |
| 教育委員会 | 現在部活動遠征には 10/10 補助しており、地域移行に当たっても何かしら措置が必要と考えている。公共施設使用料の減免や困窮世帯への支援・補助を検討している。  |
| 会長    | 地域移行の受け皿探しを教員にさせるのでは、負担軽減に繋がらないと考える。   |
| 教育委員会 | 指導員についてはスポーツ少年団や競技団体から派遣してもらうことを検討しており、教員に負担がいかないよう制度設計する。   |
|       |  |
| 事務局   | action4（都市）に係る施策【18】～【23】について説明  |
| 会長    | action4 について意見や質問はないか。   |
| 委員    | 廃業後、放置されている旅館建物の取扱いについて市はどう考えているか。   |
| 副市長   | 大きいもので 2 件あると承知している。1 件については、先の議会にて、市が解体する場合にどれ程の費用を要するかの調査費用を予算化した。その調査結果を踏まえ、対応策を検討する。<br>もう 1 件については、市が解体するのは困難と考えており、民間で活用の可能性がないかを調査している。 |
| 委員    | 風が強い日には瓦が落ちたりして周囲に危険が及ぶ。応急処置を引き続きお願いしたい。   |
| 副市長   | 承知した。  |

|       |   |
|-------|---|
| 委員    | 北陸新幹線事業の進捗状況はどうか。   |
| 土木部   | <p>駅周辺整備については今年度までで完了の計画で進めている。</p> <p>西口については駅前から高塚までの市道整備、アフレアの整備がメイン。東口についてはこれから交通ロータリーを整備する。機構が実施する駅舎工事との調整を要し、工期もタイトだが年度末までの完成を目指す。</p>                      |
| 委員    | 既存駅からバス乗り場のある交通広場まで行くために、アフレアの周囲を大回りしなければならず、利便性が悪い。ショートカットができないか。  |
| 土木部   | 駅利用者の意見は承知しており、業者と調整しているが、安全性の面から、早くとも12月以降となると聞いている。   |
|       |   |
| 事務局   | action5（経済産業）に係る施策【24】～【31】について説明   |
| 会長    | action5について意見や質問はないか。   |
| 委員    | 【29】新幹線開業を控え、DMOを視野に入れた取組が必要と考えるがどうか。   |
| 副市長   | 何をコアにするか、何をするための組織か、精査しながら検討していく。   |
| 委員    | <180>観光地としての魅力を伝える人を育てることが大事と考える。現在、観光創造マイスターが各地で中心となって活躍している。今後、若い世代が中心になっていくと良いと思うが、人材育成についてどう考えているか。   |
| 経済産業部 | 現在、1、2期生からの報告内容を踏まえ、観光素材として進んでいけるかの見極めをしている段階である。今後の方向性について、メンバーと一緒に今年度中に結論を出したい。また、若い世代にこういった活動に興味をもってもらうことについては、「あわらファンクラブ」の会員とコミュニケーションを取りながら進めていく必要があると考えている。 |
| 委員    | <181>令和4年度の事業費30,000千円は何か。  |

|       |  |
|-------|--|
| 経済産業部 | 令和4年度の観光庁補助事業に申請する25事業のうち2事業の実施主体が市であり、それらに係る経費である。  |
| 委員    | ぐるっとバスはどれぐらい利用されているのか。   |
| 経済産業部 | 年間400人の利用となっており、廃止も含めて検討している段階である。   |
| 委員    | 北潟湖は市にとって貴重な観光資源だと思うが、経済活動を優先するのか、環境を優先するのかで、向かう方向は大きく違う。市としての考え方は何かあるか。                       |
| 副市長   | 現時点で北潟湖に限定した計画というものはない。どちらか一方だけ、というのではなく、どちらにも目を向けつつ施策を進める必要があると考えている。                         |
|       |  |
| 事務局   | action6（地域社会）に係る施策【32】～【35】について説明  |
| 会長    | action6について意見や質問はないか。  |
| 会長    | 【32】地域運営組織や農村RMOなど、地域の課題を地域自らで解決するための組織づくりについて、あわら市では何か検討しているか。                                |
| 創造戦略部 | 地域活性化やまちづくりに取り組む団体を支援する「市民活動サポート助成事業」はあるが、地域課題解決の取組に対する支援は現在行っていない。                            |
| 会長    | 地域ごとの課題を全てその地域で解決できるような仕組みがあると良いと思う。   |
| 副市長   | 地域によって課題も様々であり、従来の市民活動サポート助成金に加え、ボランティアや市民活動の情報を集約し、必要とする方にそれらの情報を提供する総合窓口のようなシステムを作りたいと考えている。 |
| 委員    | <226>休校となっている3施設を今後どのように考えているのか。   |
| 副市長   | 将来的に3施設がどのような形を目指していくのか、地域の方の意見も聞きながら今年度中に方向性を見出したいと考えている。                                     |
| 委員    | 高速通信網の整備について、Wi-Fi6の整備はいつ再開するのか。   |
| 創造戦略部 | Wi-Fi6の整備は中止である。さかいケーブルテレビが実施している光   |

|       |  |
|-------|--|
|       | ファイバー回線整備の早期完了に向けて働きかけている。   |
| 会長    | 人口減少対策について、新幹線の開通により、あわら市に住みながら市外・県外に通勤・通学するような人が出てくると思われるが、そういう人への補助はあるか。 |
| 副市長   | 今後検討させていただく。   |
| 委員    | <243>「認知度の向上」とはどういう指標か。令和2年度実績が1人の理由は何か。                                   |
| 創造戦略部 | 県外で開催している移住定住フェアにおける来訪者数を指標としている。令和2年度はコロナの影響を受け、オンラインで予約1名の参加となった。        |
|       |  |
| 事務局   | 本日予定の案件は全て終了した。以上で、今年度のあわら市行政評価外部評価委員会を終了する。                               |